

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

製品名	: バイオグリーングラス VG-46
会社名	: 日本クエーカー・ケミカル株式会社
住所	: 大阪府八尾市渋川町2-1-3
担当部門	: 品質管理グループ
電話番号	: 072-992-5089
FAX番号	: 072-991-9160
緊急連絡先	: 072-992-5089
推奨用途	: 環境対応型難燃性作動油
使用上の制限	: 推奨用途以外の用途で使用する場合、専門家の判断を仰ぐこと。
整理番号	: 09185000

2. 危険有害性の要約

【最重要危険有害性及び影響】 : 有害性なし

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:気体)	: 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
授乳への影響	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない
オゾン層有害性	: 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示

:

注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし
注意書き	
予防策	: 取扱後はよく洗うこと。(P264)
応急処置	: 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
	: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。(P302+P352)
	: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
保管	: 密閉容器に保管すること。(P404)
廃棄	: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。(P501)
使用上の注意	: 安全データシート(SDS)を参照して下さい。

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法)
官報公示整理番号(安衛法)
CAS番号

：混合物
：脂肪酸多価アルコールエステル、酸化防止剤、防錆剤、耐摩耗剤
：あり
：有り
：収載

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合
眼に入った場合
飲み込んだ場合
応急措置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

：新鮮な空気の場所に移動させ安静にする。
：必要に応じて医師の診断を受ける。
：汚染された衣服をただちに脱ぐ。
：多量の水及び石鹼水で洗い流す。
：皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。
：清浄な水で最低15分以上洗眼する。
：コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
：その後も洗浄を続けること。
：医者の診断を受ける。
：水で口の中を洗浄すること。
：コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませること。
：直ちに医師に連絡すること。
：被災者は無理に吐かせないこと。
：被災者に意識がない場合は何も口から与えてはならない。
：気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
：救助者はゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
：特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
消火方法
消火を行う者の保護

：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、霧状水
：棒状放水
：燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
：火元への燃焼源を断つ。
：作業は、可能な限り風上から行う。
：関係者以外は安全な場所に退避させる。
：周囲の設備などに散水して冷却する。
：消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
：消火作業の際には、適切な呼吸保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項
回収・中和、封じ込め及び浄化の方法・機材
二次災害の防止策

：作業の際には適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
：多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
：必要に応じた換気を確保する。
：流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
：少量の場合は、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス・雑巾等で良く拭き取り、大量の水で洗い流す。
：大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いた後ドラム等に回収する。
：すべての発火源を速やかに取除き、消火剤を用意する。
：床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
：漏出物の上をむやみに歩かない。
：火花のない安全な工具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
注意事項
安全取扱い注意事項

：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
：蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
：使用前に取り扱い説明書をよく読み、取り扱い上の注意をよく理解すること。
：製品を取り扱うときは飲食、喫煙をしないこと。
：作業場の換気を十分行う。
：保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件

- : 粉塵、ヒューム、蒸気、ミストを吸い込まない。
- : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全な容器包装材料

- : 通気の良い涼しい場所で保管する。
- : 容器を密閉して保管する。
- : 直射日光を避けて保管する。
- : 40°C以下で保管する。
- : 火気厳禁
- : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度/許容濃度

- : データなし
- : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- : 蒸気、ヒューム、ミストや粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

- : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- : 適切な保護手袋を着用すること。
- : 適切な眼の保護具を着用すること。
- : 適切な保護衣を着用すること。

適切な衛生対策

- : 製品から発生するミスト、蒸気を吸入しないこと。
- : 製品を取り扱うときは飲食、喫煙をしないこと。
- : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 褐色
臭い	: 特異臭
融点／凝固点	: -30°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 300°C以上
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 276°C(C.O.C.)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7.0(5%水溶液)
動粘性率	: 47mm ² /s(40°C)
溶解度	
水溶解性	: 難溶
溶媒溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.91(15/4°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 情報なし
その他の性質又は特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 強酸化剤との接触を避ける
化学的安定性	: 通常の条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
避けるべき材料	: 情報なし
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他	: その他有用な情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	: 情報なし

急性毒性(吸入:気体)	: 情報なし
急性毒性(吸入:蒸気)	: 情報なし
急性毒性(吸入:粉塵ミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性	: 情報なし
皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
授乳への影響	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 有害性は低い 100mg/L以上(LC50ヒメダカ)
水生環境有害性 長期(慢性)	: 有害性は低い
オゾン層有害性	: 有害性なし
生態毒性・魚毒性	: 情報なし
生態毒性・無脊椎動物毒性	: 情報なし
生態毒性・藻類毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 生分解性70%以上(OECD法)
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
	: 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内規則	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国際規則	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号	: 国連の分類基準に該当しない。
緊急時応急措置指針番号	: 情報なし
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光および高温を避ける。
海洋汚染物質	: 該当

15. 適用法令

国内適用法令	
化審法(特定・監視・優先評価)	: 非該当
消防法	: 第9条の4「指定可燃物」、政令第1条の12 別表第4 可燃性液体類
労働安全衛生法	: 非該当
毒劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
火薬取締法	: 非該当
高圧ガス保安法	: 非該当
化学物質把握管理促進法	: 非該当

海洋汚染防止法 : 非該当
労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則 : 非該当
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

- ・GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) (JIS Z 7253:2019)
- ・(社)日本化学工業協会、GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、2019年6月
- ・日本界面活性剤工業会 界面活性剤のGHS対応MSDS作成ガイド(2010年版)
- ・化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)
- ・原料安全データシート

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

当安全データシートに記載の含有量ならびに物理・化学的性質等の情報は保証値ではありません。

また、法令の改正及び新たな知見に基づき、安全データシートの内容が改訂される場合があります。

危険・有害性の評価は充分でなく、またすべての化学物質には未知の有害性がありうるため、取扱いに充分ご注意下さい。また、「安全データシート」の内容は法令の改正や新しい知見に基づき改訂されることがあります。